

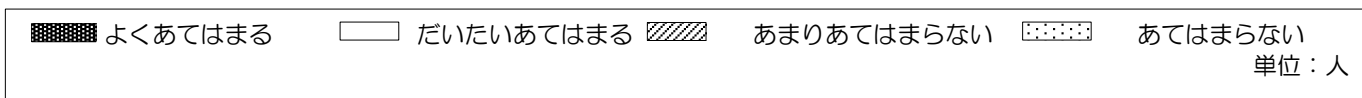
保護者の皆様

豊川市立一宮東部小学校
校長 松本 充弘

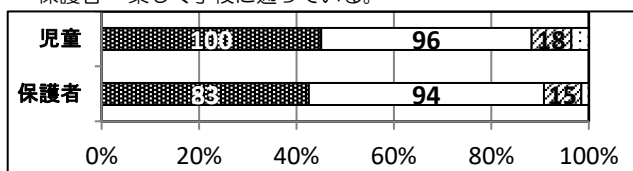
令和4年度 学校評価アンケートの結果について（ご報告）

立春の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、2学期に実施した学校評価アンケートの結果についてお知らせします。この結果をもとに、今後の教育活動を充実させていきます。

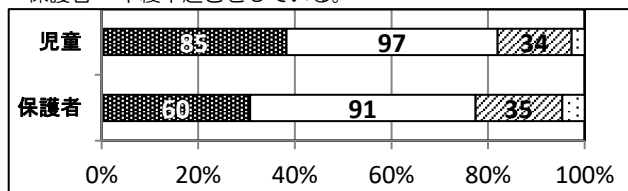


1 児童 学校へ来るのが楽しい。
保護者 楽しく学校に通っている。



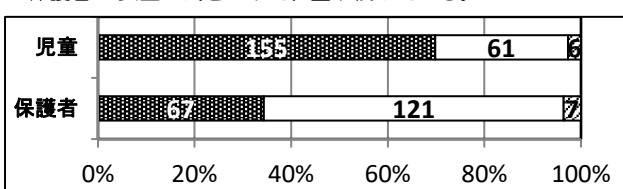
子ども・保護者ともに90%近くが肯定的な回答をしています。しかし、高学年になるほど否定的な回答をしている子ども・保護者が増えているという事実があります。心の発達段階として仕方のないこととはせずに結果をを謙虚に受けとめ、一人一人の子どもが活躍できる場を多く作っていきけるように取り組みたいと思います。

2 児童 早寝早起きをしている。
保護者 早寝早起きをしている。



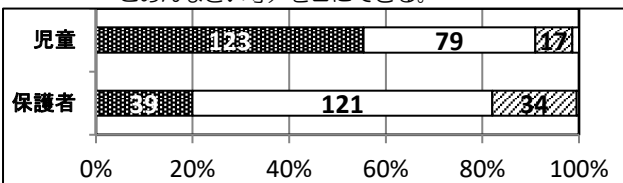
子ども・保護者ともに肯定的な回答が少ない項目です。しかし、昨年度と比べると、児童は肯定的な回答が増えています。保護者は減っており、保護者の方が根気よく声をかけてくださっていることがうかがえます。毎学期実施している「いきいき生活チェック」が、定期的に見直す機会になればと考えます。学校では、さまざまな機会をとらえた指導を継続していきます。

3 児童 安全に気をつけて、登下校している。
保護者 安全に気をつけて、登下校している。



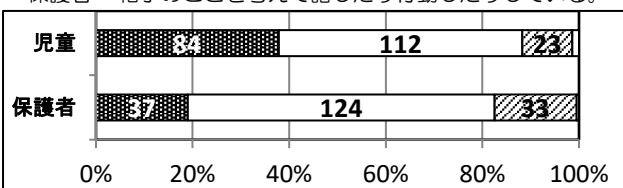
子ども・保護者ともに90%以上が肯定的な回答をしています。しかし、登下校時にトラブルがあることも事実です。小さなヒヤリハットが事故に繋がっていかぬよう、安全指導をしていきます。保護者の皆様、町内の見守り隊など地域の方の協力に感謝いたします。

4 児童 自分から進んであいさつし、ありがとう、ごめんなさいが言える。
保護者 あいさつや返事の習慣が身につけており、素直な言葉(ありがとう、ごめんなさい等)を口にできる。



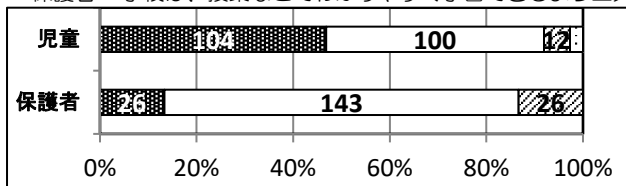
子どもは90%ほどが肯定的な回答をしています。保護者の回答は、昨年度、肯定的な意見が大きく上がっていたのですが、一昨年の状況に戻ってしまった感じがします。また、教員の肯定的な回答率が低く、子どもとの意識の差を感じます。コロナ禍で、大きな声を出さない指導をしてきた影響かと思われます。元気なあいさつや素直な言葉が多くなるよう、私たち大人からよい手本を示していきたいと思っています。

5 児童 相手のことを考えて話したり行動したりしている。
保護者 相手のことを考えて話したり行動したりしている。



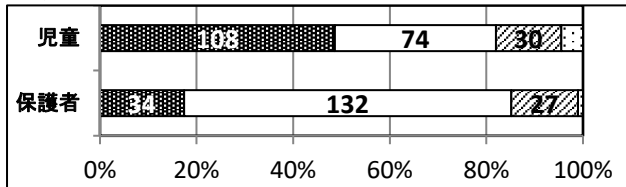
子ども・保護者ともに80%以上が肯定的な回答をしています。人権講話や学校保健委員会で、相手のことを考えた話し方や行動について考える機会を設けてきましたが、実際の行動に現れていない子どもも少なからずいます。温かな人間関係作りができるよう、子どもたちの変化に気を配ったり、行動のスキルアップの機会を設けたりしていきたいと思っています。

6 児童 授業はわかりやすい。
保護者 学校は、授業などでわかりやすく学習できるよう工夫している。



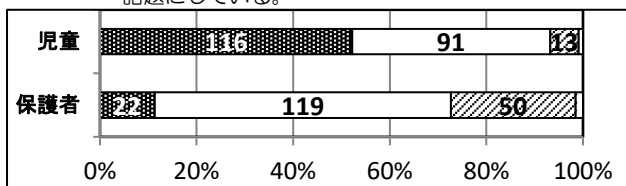
肯定的な回答が、子ども・保護者とも90%近くみられます。しかし、保護者のよくあてはまるの回答率は低く、更なる工夫を期待してことがうかがえます。職員全体で授業改善を意識し、子どもの実態に即した学習が行えるよう工夫していきたいと思います。具体的には、子どもの実態に応じた課題を設定したり、ICTの活用を進めたりしたいと考えます。

7 児童 授業でわからないことは、先生や友達に聞いてわかるようにしている。
保護者 各教科の基礎基本的な学力を身につけている。



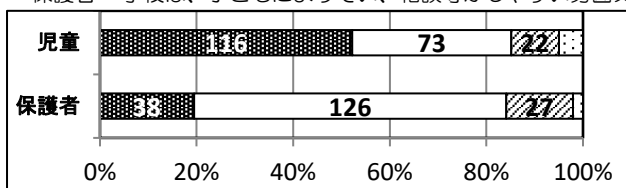
子ども・保護者ともに肯定的な回答が、80%を超えています。しかしながら、保護者のよくあてはまるの回答率は低く、更なる学力の定着を期待していることがうかがえます。基礎学力をより定着させるために、課題に対して丁寧に取り組みせたり、さらにレベルの高い課題に挑戦させたりしていきます。反対にわからなくてもそのままにしてしまう児童もいるようです。質問しやすい環境づくり心がけ、基礎・基本をしっかりを身につけられるよう支援します。

8 児童 安全(交通安全、防災、防犯、情報機器の使い方)について学んだことを生かそうとしている。
保護者 交通安全、防災・防犯などへの対応、情報機器の使い方などについて、話題にしている。



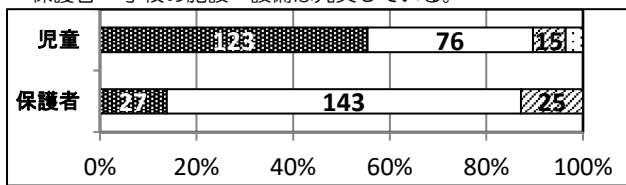
今年度は、当初より地震による避難があったり、雷による緊急下校があったりしました。幸い大事には至らず、防災について考える良い機会になったと思います。不審者に関するメール配信もたびたびありました。タブレットの家庭への持ち帰りが遅れているため、情報機器の使い方に関して話題にすることができなかったことが保護者の肯定的な回答を少なくしている原因と考えます。安全に関する情報を保護者様宛に発信する機会を増やしていきたいと思えます。

9 児童 学校の先生たちは、話をよく聞いてくれ、困っていることを相談できる。
保護者 学校は、子どもによりそい、相談等がしやすい雰囲気がある。



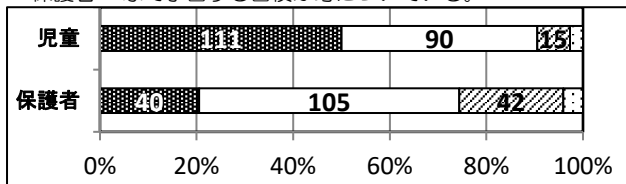
子どもも保護者も、80%以上が肯定的にとらえています。一方で、約30人の児童が不満を感じているという事実は大いに反省するところです。指導により、話にくい雰囲気ができることもあるかと思いますが、指導は指導で切り替え、話しやすい雰囲気、相談してよかったと安心感をもってもらえるように努めていきたいと思えます。

10 児童 学校で、みんなが使う用具や部屋は使いやすい。
保護者 学校の施設・設備は充実している。



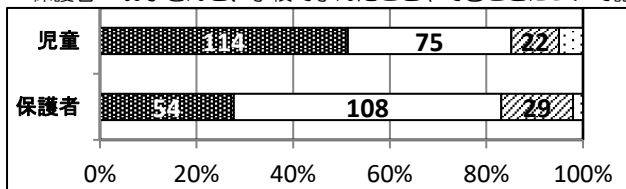
90%以上の子どもと保護者が、施設・設備が充実していると回答しています。古いものも多いですが、大切に扱うことで不便なく生活が送れているものと思われれます。ICT教育等新しい教育にも対応できるよう機器を充実させていきます。また、子どもたちが安心・安全に過ごせるよう校内の施設・設備の見直しをしていきます。

11 児童 家では、自分から進んで学習している(宿題も含む)。
保護者 家で学習する習慣が身についている。



子どもと保護者のとらえに若干の開きがあります。学校では毎日宿題を出していますが、それだけではなく、自主的に学習する子もいます。言われて学習(宿題)をするのではなく、興味をもって自主的に取り組めるよう、課題提示や指導をしていきたいと思えます。

12 児童 学校で学んだことやできごとを家の人に話している。
保護者 お子さんと、学校で学んだことやできごとについて話題にしている。



お子さんを通して学校の様子が伝えられていることがうかがえます。また、保護者の方も、学校でのことについて話題にしよう意識してくださっているのだと考えられます。今後もおたよりやメール配信、ホームページ等で、学校からの情報発信を活発に行っていこうと思えます。